



## 2. 次期業績予想について

### (1) 2026年12月期連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

|                          | 売上高   | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|--------------------------|-------|------|------|-------------------------|----------------|
|                          | 百万円   | 百万円  | 百万円  | 百万円                     | 円銭             |
| 2026年12月期<br>(第2四半期(累計)) | 1,176 | 33   | 33   | 21                      | 2.85           |
| 2026年12月期<br>(通期)        | 2,400 | 60   | 60   | 40                      | 5.38           |

### (2) 次期業績の見通し

2026年12月期においては、引き続きコンサルティングサービスの高付加価値化を推進してまいります。プロジェクトの受注獲得を着実に積み重ね、継続して安定的に利益を生み出すフェーズへと移行し、通期黒字化となる2025年12月期と比較して増収増益となる見込みであります。

当社は、引き続き株主価値の最大化に向けて最善を尽くすとともに、経営環境の変化に応じた適切な情報開示に努めてまいります。

## 3. 中期経営計画の財務計画取り下げについて

### (1) 取り下げの理由

当社は、2024年8月14日に2028年12月期を最終年度とする中期経営計画を公表し、その達成に向け取り組んでまいりました。

しかしながら、2025年12月期の業績予想を修正したことと、2026年12月期業績予想を踏まえ、最終年度に至るまでの定量的な要素についても見直しが必要であると判断し、中期経営計画の財務計画を取り下げることにいたしました。

なお、中期経営計画に掲げている事業成長戦略等については変更ありません。

### (2) 今後について

当社は2026年以降も中期経営計画に掲げる「収益性を伴った事業成長」に向けて、「①サービスの拡大と高付加価値化」「②優秀な人材の採用と育成」「③クライアントの獲得と深耕」により一層注力して取り組んでまいります。

これらの戦略のもと、2026年12月期においては祖業であります「決済」分野では引き続き収益貢献が堅調に推移していくことを見込んでおります。一方で、2024年12月期より立ち上げが本格化した「銀行・保険・証券・ITリスク・セキュリティ」分野については、2025年12月期におけるパイプライン構築やプロジェクト受注の進捗状況を踏まえて着実に収益貢献していくことを予想に組み込んでおります。また、販管費等については、財務規律を見極めた効率化を継続し、収益の進捗状況や外部環境の変化に対して機動的かつ最適な投資判断を実施してまいります。

なお、新たな中期経営計画の財務計画につきましては、当社を取り巻く昨今の事業環境等を総合的に勘案し、合理的に策定できるようになった時点で速やかに公表する予定であります。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上